



AU通信

TEL 0797-38-2091
FAX 0797-38-2089

ホームページアドレス
<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>
Eメールアドレス
ashiya@unesco.or.jp

発行：芦屋ユネスコ協会
会長 広瀬忠子

「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

～平和の鐘を鳴らそう～

日本ユネスコ協会連盟が「平和の文化国際年」(2001年)から全国に呼びかけている「平和の鐘を鳴らそう！」運動に芦屋ユネスコ協会も参加しています。

平和に慣れ危機感がやや薄れかけた昨今、私たちユネスコ協会は昨年8月15日の正午に平和の鐘を鳴らそう運動を始めました。じりじり照りつける暑い暑い日でしたが、メンバー25名が市民センターの前庭の「友愛の鐘」の前に集まり、平和宣言を一同で声高らかに読み上げた後、一人ずつ鐘をつきました。

美しい鐘の音は、芦屋川に添って市内に平和を願う私たちの心を伝えに流れていきました。

昼食を共にしつつ苦しかった戦争中の経験やこの頃のイラク・北朝鮮情勢など平和について真剣に語り合い、今後の平和への取り組みについて話し合いました。

ユネスコ活動は、地味であり、時間がかかりますが、皆様と共に世界の平和の為、これからも頑張っ参りましょう。

(会長：広瀬忠子)

この時の様子が翌日の新聞記事として掲載されました。

<毎日新聞>

<神戸新聞>

2004年(平成16年) 8月16日 月曜日

2004年(平成16年) 8月16日 月曜日

鎮鳴らし平和を誓う

芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

「平和を願う」として、15日正午、芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

「平和を願う」として、15日正午、芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

「平和を願う」として、15日正午、芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

2004年(平成16年) 8月16日 月曜日

鐘の音を追悼に

芦屋市 市民ら手を合わせ

芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

「平和を願う」として、15日正午、芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

「平和を願う」として、15日正午、芦屋市市民センター前庭で、ユネスコ協会メンバー25名が「友愛の鐘」をたたき、平和宣言を読み上げた。背景には、芦屋川が流れる風景が写し出されている。

芦屋市「平成16年度 市民と考える平和展」

芦屋市・芦屋教育委員会・芦屋ユネスコ協会共催

ユネスコ・パネル展開催！！

今年も芦屋市・芦屋教育委員会主催の「平和と人権」行事の中で、芦屋ユネスコ協会と共催での「ユネスコ・パネル展」が、8月7日(土)から8月15日(日)まで芦屋市民センター常設展示場で開催されました。

今年のテーマは「アフガニスタンの平和への道のり」と言うことでアフガニスタンへの寺小屋運動(学校建設)をメインにした展示とビデオ放映を行い芦屋市民の多くの方にご観覧頂くことが出来ました。

パネル展示期間中、芦屋ユネスコ協会の役員が交替で立会い、来場者にユネスコの活動についてのPRや資料をお渡しするなどの対応をさせていただきました。中でもビデオ放映での寺小屋運動の一連の活動をご覧頂いた皆様方には感動され関心も深めて頂いたようです。今年も来場者は期待ほど多くはありませんでしたが、来場された方には、ユネスコについてのご理解を頂けるよう役員一同が懸命に対応させて頂きました。役員の皆様本当にご苦労様でした。

今回の行事を通じて、まだまだユネスコのこと芦屋ユネスコ協会の存在についても認識や関心が低いことを痛感しました。当面 仲間の輪を広げる会員増強が最大の課題だと思っておりますので、新会員の紹介・勧誘をくれぐれもよろしくお願い致します。

どうぞ 会員の皆様の積極的なご支援、ご協力を改めてお願い申し上げる次第でございます。

(事務局長：山田利郎)



(イメージ写真)

芦屋の全小・中学校に

書き損じ葉書BOX設置

9月13日(月)に芦屋市教育委員長藤原周三氏及び学校教育部長車谷博己氏を訪ねました。

ユネスコ世界寺小屋運動の必要性を話しましたところ、賛同の意を表し、快くご了解していただき、早々に教育委員会で各学校に設置していただけるように取り計らって下さいました。

今、全世界人口61億人中、5分の1が一日1ドルの生活を、5分の2が2ドル以下の生活を余儀なくされています。読み書きの出来ない人は9億人です。これは教育に依るものです。特に母親の教育と幼稚園・小学校の教育者が如何に大切かと思われれます。芦屋ユネスコ協会は、学校にアクセスすることで、児童がこのことを理解すると共に、世界中の困っている児童に眼を向けて欲しいと願っています。書き損じ葉書の回収だけでなく、その意味を一人でも多くの児童とそのご両親に感じていただけたらと念じております。

今回の書き損じ葉書BOXは10月末に回収の予定ですが、今後も定期的に続けていきたいと思っております。小・中学校に通っていらっしゃるお子様、お孫様をお持ちの方は、是非ご家庭におかれましても平和についての会話をされるなどで意識を高めていただくと共に、子供達が書き損じ葉書回収に参加出来るようご協力いただけましたら幸いです。

(理事 塩井君子)

部会報告とお知らせ

交流部会

<世界文化遺産見学バスツアー開催予告>

例年どおり2004年4月には、**徳川美術館を訪ねるバスツアー**を計画しております。
多数の参加をお待ちしております。

その他、「**日本文化のルーツを求めて**」などの企画もしておりますので、ご期待ください。

事業部会

<書き損じ葉書の回収運動>

書き損じ葉書、または家の中に残っている未使用の**古い葉書**などがありましたら、年末講演会 & 親睦会にご出席の折にご持参ください。受付にて回収いたしております。また、芦屋ユネスコ協会事務局（芦屋市役所北館4階、教育委員会社会教育部生涯学習課内）あるいは役員にお届けください。書き損じ葉書はお金に換えられ、**世界寺子屋運動**（非識字者のための学校＝寺子屋建設）の資金となります。どうぞご協力をお願いいたします。

育成部会

<世界遺産セミナー>など、検討中。

協調・連携団体連絡

レディス・セミナーハウス

毎月**第3火曜日 11時～13時半**、芦屋ラポルテ本館3階**山村サロン**にて、レディス・セミナーハウスを開催しております。昼食は大阪の老舗「**花外楼**」の特別美味しいお弁当が戴けます。

ビジター参加が可能ですのでご希望の方はセミナーの**5日前**までに事務局にご連絡下さい。

（参加費：1回10,000円、昼食代を含みます、男女を問いません）

入会ご希望の方もお気軽にお問い合わせください。（三宮 Tel：22-3729 Fax：22-9298）

事務局連絡

<会員現況>

特別会員 15名

維持会員 31名(1)

普通会員 105名(17)

学生会員 2名(1)

団体会員 1団体

()内は今期新入会員数

合計現在会員数 154名+1団体

<ホームページ紹介>

☆10月25日(月)にいたみホールにて「**いたみユネスコ講座 世界無形文化遺産 文楽の魅力**」が開催され、芦屋クラブからの参加会員によるレポートがホームページに掲載されています。当日の様子を撮った写真も掲載されていますので、是非ご覧下さい。

編集後記：大型台風の到来や大きな地震に見舞われ、日本列島はどうなるのかと心配になってしまいますが、私にとってはAU通信作成が間に合うかどうかの方が大問題で、皆様にご報告したい内容も多くあり、限られた紙面の中、足りない部分は是非ホームページをご覧いただけましたらと思います。(Y・E)